

絵本など15冊プレゼント

和歌山病院(美浜町)入院児らに

日高振興局

日高振興局の西岡義高・健康福祉部長らは7日、美浜町和田の独立行政法人国立病院機構和歌山病院(楠山良雄院長)を訪れ、院内の医療型障害児入所施設(定員160人)に入院している子どもたちに絵本をプレゼントした。

5日から11日まで実施される児童福祉週間になんて、児童らを励まそうと昭和42年から毎年この時期に行われており、今年で47回目のプレゼント。
7日は、かがくいひろし著の「だるまさんシリーズ」が「の・と」や宮西達也

の「あいしてくれてありがとう」、柳原良平の「かおかお どんなかお」など計15冊を贈呈した。
受け取った楠山院長は「障害児らは、絵本に大変興味があり、読みきかせをするとうれしいに耳を傾けてくれます。ボランティアの皆さんのご協力も得て、子どもたちが贈られた本に接し、さらに心豊かに育っていくことを願っています」と感謝していた。



楠山院長に絵本を手渡す西岡部長(左)